



令和7年度長崎市立小島中学校 学校経営方針

長崎県総合計画 Change&Challenge2025

長崎市第五次総合計画前期基本計画

【基本施策】G1 長崎の町を愛し、新たな時代を生き抜く子供を育みます。

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県・市教育方針

学校教育方針

職員の和と秩序をもって経営の中心とし、家庭・地域社会との連携のもと、予測困難な社会の中、未知の状況にも自ら挑戦していく知・徳・体の調和のとれた、たくましく生きる生徒の育成を目指し、活力ある学校の創造を図る

職員の願い
生徒の実態
保護者・地域の願い

校訓

自主 自律 自愛

学校教育目標

人間性豊かで、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成

めざす学校像

- ・鍛える授業が展開される学校
- ・温かみあふれる秩序のある学校
- ・子どもが安心して過ごせる安全

めざす生徒像

- 知** 志を高く持ち、自ら学ぶ生徒
- 徳** 規律正しく、思いやりのある生徒
- 体** 心身共に健やかでたくましい生徒

めざす職員像

- ・生徒への愛情があふれる温かみのある職員
- ・向上心に富み、生徒とともに行動する職員
- ・心身共に健康で人間性豊かな職員

学校経営の重点目標

- ① 学力向上と一人一人に対応した教育の推進
- ② 生徒指導の充実と安心できる相談環境整備
- ③ 心身共に健やかでたくましい生徒の育成
- ④ 望ましい人間関係を構築できる生徒の育成

「重点目標達成のための実践努力事項と第五次長崎市総合計画前期基本計画との関連」

1 学力向上と一人一人に対応した教育の推進〈G1-1〉

実 践 事 項	関 連
(1) 学力検査の積極的活用 (2) 指導方法の改善による「楽しい授業」「わかる授業」の実践 ①「めあて」「まとめ」が子供に届く授業 ②学習規律の確立 ③協働的に考える場面の設定 ④「学力向上プラン」に基づいた基礎・基本の定着を図る。 ⑤教師間の学び合い（同僚性）の充実を図る。 (3) ICT機器の活用 ①一人一台端末の効果的活用 ②個別最適化された学習 ③不登校生徒への対応 (4) 家庭学習の充実 ①AI型教材キュビナの活用 ②共感的指導(認め・褒め・励ます) (5) 評価・評定の工夫 (6) 小中連携	G1-1 学力向上プランを活用した教育実践 G1-1 ICT機器の効果的な活用

2 生徒指導の充実と安全安心な環境整備〈G1-2 F1-2〉

実 践 事 項	関 連
(1) 全職員で実践する生徒指導体制の確立 (2) いじめ根絶と気付ける環境づくり (3) 時間の厳守 (4) 情報モラル教育の推進 ①「SNSノート・ながさき」の活用 ②メディア講演会の実施 ③家庭内でのルール作りの推進 (5) キャリア教育の推進 (6) 特別支援教育の充実（クールダウンが必要な生徒への対応） ①生徒理解 ②校内支援委員会の充実を図る。 ③外部機関や医療機関、SCやSSW等の連携 (7) 教育相談環境の整備 (8) 「不登校」支援の取組の強化 ①社会的自立を目指す支援の共有化 ②安心できる環境をつくる。 ③家庭訪問の実施 ④関係機関・医療機関との適切な連携 (9) 関係機関との連携	G1-2 いじめの未然防止 F1-2 いじめの早期発見 G1-3 情報モラル教育の推進と家庭内におけるルールづくり G1-2 キャリア教育の充実 G1-2 特別支援教育の充実 F1-2 相談体制の強化 F1-2 関係機関との連携

3 心身共に健やかでたくましい生徒の育成〈G1-2 A3-1 F8-1〉

実践事項	関 連
(1) 命の教育を根底においた心の教育 ①「命の大切さを実感させる教育」の推進を図る。 ②生徒の心身の状況を正しく把握し、適切な対応に努める。 (2) 「温もり」のある学級集団づくり (3) 道徳教育の充実 (4) 読書活動の推進 (5) 清掃、奉仕活動の充実 (6) 人権、平和教育の推進 (7) 体力向上の取組 (8) 郷土学習に関する事業への参加 (9) 国際理解教育の充実 (10) 家庭への支援 (11) 感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザなど）への対応	G1-2 道徳教育の推進 G1-2 読書活動の推進 G1-2 人権・平和教育の推進 B1-2 平和ナガサキの活用 G1-2 体力向上の取組 G1-2 様々な体験活動の充実 A3-1 積極的な英検取得 ALTとの協働 F8-1 新型コロナウイルス感染症対策

4 望ましい人間関係を構築できる生徒の育成〈G1-2 G1-3〉

実践事項	関 連
(1) 「ありがとう」があふれる学校づくり (2) 信頼関係の構築 ①生徒間、生徒―教師間、教師―教師間の信頼関係構築に努める。 (3) 自己肯定感を高める ①「ほめて伸ばす」ことで自信を持たせ、「自愛」と「他愛」の気持ちを醸成させる。 (4) 生徒の変化に気付く目を持つ (5) 通級指導教室の活用等 (6) スクールカウンセラー（SC）の積極的な活用 (7) 学びの場の変更が必要な生徒への対応 (8) 保護者、地域、関係機関との連携・交流 (9) 教職員として自覚ある行動 （働き方改革の推進 月80時間オーバー0人、業務の効率化）	G1-2 特別な支援を要する生徒や保護者への相談体制の充実 G1-3 学校公開の推進